

第10回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会
議事概要

【開催日時】 平成27年2月16日（月）13:25～14:45

【議題】 1. 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果（存在・供用時）について
2. 今後の予定について

【出席者】 清水委員長、伊藤委員、岡田委員、小倉委員、猿田委員、古川委員、山田委員、横田委員、
東京都、神奈川県、千葉県、航空局、東京航空局、関東地方整備局

【開催場所】 羽田空港第1旅客ターミナルビル6F ギャラクシーC

【資料】 資料-1 環境監視調査結果（存在・供用時）の概要について

資料-2-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果<本編-大気環境編>
同 <資料編-大気環境編>

資料-2-2 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果<本編-水環境編>
同 <資料編-水環境編>

1. 開会挨拶

2. 委員長挨拶

3. 議事

3-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果（存在・供用時）について

[資料説明]: 事務局より、大気環境に係る存在・供用時の環境監視結果について説明。

委員: 資料2-1<本編>p.大-13の③光化学オキシダントの評価において、環境基準値を超えていたということと、資料2-1<資料編>p.大-10のグラフにおいて、高濃度時のピーク濃度が少しづつ右肩上がり傾向が見られることから、今後も注意してデータを確認していくこと。

事務局: 承知した。

[資料説明]: 事務局より、水環境に係る存在・供用時の環境監視結果について説明。

○底質

委員: St.6の調査位置の特定は目視か。あるいはGPSによる特定か。なぜこのような誤りが起きたのか。

事務局: 調査船のGPSにより緯度経度を確認しているが、乗組員の単純なミスにより起きてしまった。

○暗環境

委員: これほどの規模の暗環境は恐らく初めてであり、調査結果は非常に貴重である。今後同様の環境のものを作る場合の、アセスメントなどを行う上で非常に役立つと思うので、きちんと調査して欲しい。

委員: 資料2-2<本編>p.水-117の付着生物について、「対策の検討も念頭に置きながら」となっているが、堆積に対しては浚渫や栈橋への何らかの対策も考えられると思うが、今はどのようなことを考えているのか。

事務局: 落下した付着生物の底質への影響を把握する調査を別途行っている。対策については、方法の目安を付けてある。今後の底質の状況により、具体化するかどうかを検討していく。

委員：付着生物などが落下して堆積することは事実であり、そのままにしておけば増加していく。

調査だけではなく、堆積物の除去などの対策も含めて今後のことを十分検討してほしい。

委員長：発電所の取放水管における付着生物の対応が参考になる。

○評価案

委員：資料 2-2<本編>p. 水-125 の底質の評価について、「a 水域は局所的な変化が考えられることから」となっているが、前の記述や個別のデータを見ると、a 水域のある地点における変化は観測された事実であるので、評価としても事実として記載したほうがよいと思う。また、生態系の評価について、「生態系については、全体としては著しい変化はみられない」となっているが、前の記述では「干潟全体としては著しい変化はみられない」となっている。「全体」という言葉は曖昧であり、全く変化がみられない意味にもとられる可能性があるため、空間的に全体としてであることを記載したほうがよいと思う。

事務局：表現を相談させていただきたい。

3-2 今後の予定について

[説明]：事務局より、今後の予定について説明。

(1) 資料の公表について

- ・本日の資料と議事概要は、東京航空局と関東地方整備局のホームページで公表する予定です。
- ・本日の資料について、更にご意見等ありましたら、本日から1週間を目処に事務局まで連絡をお願いします。

(2) 次回第11回環境監視委員会について

- ・大気環境については、予測時期に該当する昼間の離着陸回数の枠が年間40.7万回に達したので、環境監視計画書に定める航空機の運航による影響が最も大きくなる時期の1年間の調査の一部を本日ご提示させていただいた。残りの調査を含む調査結果を第11回の委員会において提示し、審議いただいた結果、問題がないとの結論になれば、第11回をもって環境監視委員会を終了させていただきたい。
- ・水環境については毎年調査を続けており、本日ご審議いただいたように著しい変化が見られない項目もある。今後1年間の調査結果を第11回環境監視委員会に提示し、審議いただいた結果、問題がないとの結論になれば、5年という節目を迎える平成27年度で環境監視計画に基づく調査を終了したいと考えている。ただし、一時的な変化や局所的な変化、また暗環境のような課題については、個別の課題として別途調査を実施することも考えている。今後1年間の調査結果も踏まえ、調査項目、調査地点、調査頻度等の具体的な内容を検討し、次回の委員会にご提示したい。
- ・第11回環境監視委員会の開催時期は、委員の皆様にご相談させていただきたい。

4. 閉会挨拶

(了)